

# 目次

序文..... 桜谷 直人・巻頭

## 【I. 総論】感染管理の基礎知識

1. 標準予防策 .....	高橋 峰子.....	1
A. 手指衛生 .....		2
1. 手指衛生の方法 .....		3
2. 手洗いの手順 .....		3
Q1. 在宅の現場で洗面所などを拝借しにくい場合は？ .....		4
3. 手指衛生のタイミング .....		5
Q2. 利用者に触れる前に手をきれいにしようとしたら「汚いものに 触れる」かのような誤解をされた場合は？ .....		6
B. 個人防護具 .....		7
1. 個人防護具の種類と使用目的、タイミング .....		7
2. 個人防護具の装着・脱着手順と手指衛生 .....		8
Q1. 1回で捨てるのはもったいないので、手袋は擦式アルコール製剤 で消毒してから次の利用者にも使用していますが、手袋は毎回替 える必要がありますか？ .....		11
Q2. 家族にも個人防護具の装着が必要とされる場合がありますか？ .....		12
C. 患者ケア用の機器および器具 / 器材の取扱い .....		13
1. 血液由来病原体による感染予防 .....		14
2. 針刺し事故時の対応 .....		15
Q1. 利用者に使用した鑷子がありますが、CDC ガイドラインのように 現場で清潔にすることができません。どうしたらよいでしょうか？ .....		16
Q2. おむつ交換時に陰部の清潔のため、洗剤の空き容器でお湯をかけて 流しています。使用後の容器は丁寧に水でゆすいで乾燥させて いますが、洗う必要がありますか？ .....		16

D. 咳エチケット	17
1. 在宅や介護の現場における咳エチケットの意義	17
2. 在宅での「咳エチケット」が必要な場面	18
Q1. 2日目の訪問時は大丈夫でしたが、本日訪問したら利用者が咳をしていました。介護していた家族も咳をしていましたが、サージカルマスクの持ち合わせがなく、そのままケアをして帰ってきました。何か気を付けることはありますか？	19
Q2. 在宅で母を介護しています。訪問リハビリサービスを受けていますが、スタッフが咳をしています。マスクを装着せずにリハビリを開始しました。お世話になっているので、「マスクして下さい」とはなかなか言いにくいです。どうしたらよいでしょうか？	20
2. 感染経路別予防策	望月 敬浩 21
A. 感染経路別予防策の内容	21
1. 接触感染予防策	21
2. 飛沫感染予防策	21
3. 空気感染予防策	22
B. 感染経路別予防策が必要となるばい菌や病気	23
C. その他	24
D. おわりに	25
3. 病原体の基礎知識と感染管理	二本柳 伸 26
A. 疥癬	26
B. インフルエンザ	31
C. ノロウイルス	34
D. 食中毒	37
E. その他の注意すべきウイルス感染症	39
<レジオネラ症>	39
<結核>	40
F. 注意すべきウイルス感染症	41
<麻しんく(はしか)>	41
<流行性耳下腺炎(ムンプス おたふく風邪)>	42
<水痘(みずぼうそう)・带状疱疹>	43
G. 付録. 注意すべき薬剤耐性菌	45

4. 環境整備から考える感染管理・衛生管理	野口 雅久・他	47
A. 高頻度接触表面の衛生管理		47
B. 部屋の清掃		48
C. 感染管理・衛生管理で特に配慮すべき事項		50
1. 経腸栄養剤		50
2. 間欠的自己導尿		51
3. ネプライザー		52
4. 加湿器		52
5. 気管内吸引チューブ		53
6. 人工呼吸器回路		53
5. 在宅・介護の現場における消毒薬の取扱い	鈴木 高弘	55
A. 消毒薬の役割		55
B. 消毒薬の分類		56
C. 代表的な消毒薬の特徴および使用上の留意点		57
1. 次亜塩素酸ナトリウム（中水準消毒薬）		57
2. アルコール製剤（中水準消毒薬）		59
3. クロロヘキシジン（低水準消毒薬）		60
4. 第4級アンモニウム塩（低水準消毒薬）		61
D. 消毒薬の汚染		63
Q. 0.01%（100 ppm）次亜塩素酸ナトリウムはどのように作るの でしょうか？	小林 輝信	64

## 【II. 各論】在宅医療・介護の留意点

1. 感染管理技術		65
A. 口腔ケア	石井美千代	65
1. 口腔ケアで生活の質向上		65
2. 口腔ケアの感染管理ポイント		66
3. 必要物品（例）		66
4. 準備		67
5. 口唇・口腔内の観察		67
6. 方法		67
Q. 口から食事をとれない場合口腔ケアは必要ない？		68

<b>B. 吸引ケア</b> .....	70
1. 吸引ケアのポイント .....	70
2. 準備 .....	70
3. 吸引操作 .....	70
4. 吸引後 .....	71
5. カテーテルの管理 .....	71
6. 吸引びんの処理 .....	72
Q. 気管内吸引の場合は滅菌手袋を装着したほうがいいでしょうか? .....	72
<b>C. 排泄ケア</b> .....	73
1. 排泄ケアの感染管理のポイント .....	73
2. 排泄介助の実際 .....	73
3. おむつ交換 .....	74
4. 陰部洗浄の方法 .....	74
5. 尿器・便器を使用する場合 .....	75
6. 摘便 .....	75
7. 観察 .....	75
Q. 排便の性状が統一して記載できるようなスケールはありますか? .....	76
<b>D. 尿道カテーテル留置</b> .....	77
1. 尿道カテーテルの感染管理のポイント .....	77
2. 挿入時の対策 .....	77
3. 陰部の保清 .....	78
4. カテーテル管理 .....	78
5. 尿の処理 .....	78
6. 尿量の確保 .....	79
7. 観察 .....	79
Q. 尿道カテーテル留置中の細菌の侵入経路はどこですか? .....	80
<b>E. 褥瘡ケア</b> .....	佐藤 綾乃 81
1. ケアのポイント .....	81
2. 褥瘡の悪化防止 .....	81
3. 基本的な処置方法と感染対策 .....	82
<b>F. 中心静脈カテーテル管理</b> .....	83
<管理の実際>	

1. 薬剤管理	84
2. 挿入部の管理	84
Q. 輸液ボトルのゴム栓は、シールがついていても消毒は必要ですか？	85
<b>G. 酸素療法</b>	85
1. 加湿びんの管理	86
2. カニューラ	86
3. 手洗い	86
4. 留意点	86
Q. カニューラはどのくらいの頻度で交換すればよいですか？	87
<b>H. 経管・胃ろうケア</b>	87
1. 経管栄養剤の汚染防止	87
2. 使用物品の汚染防止	87
3. 胃ろう部のケア	88
4. 誤嚥性肺炎防止	88
Q. 胃ろうでも口腔ケアは必要ですか？	88
<b>I. 人工呼吸器</b>	89
1. 体位	89
2. 人工呼吸器回路の交換頻度	89
3. 人工呼吸器回路の消毒	89
4. 環境整備	89
Q. 人工呼吸器の回路交換を忘れてしまいそうですが、どのようにすればよいですか？	90
<b>2. 在宅・訪問時の留意点</b>	91
<b>A. 医療機器・製品の使用後の取扱いについて</b> 高橋 峰子	91
1. 処理方法のポイント	91
Q1. 医療施設で製品を再使用する場合はどのような手順になりますか？	95
Q2. 物品を消毒する場合、キッチンハイターと熱湯消毒するのではどちらが望ましいですか？	95
<b>B. 簡易検査機器の扱い</b> 夙谷 直人	95
1. はじめに	95
2. POCT 対応検体検査機器の感染管理	96
3. POCT 対応試薬の感染管理	98

4. POCT 対応生理機能検査機器の感染管理	100
5. おわりに	102
<b>C. 在宅や介護の現場での予防接種</b>	本田 勝亮 103
1. はじめに	103
2. 予防接種全般について	103
3. 在宅や介護の現場にて医療関係者・介護者が接種を考慮すべき ワクチン	106
4. 在宅や介護の現場にて医療関係者・介護者が接種を考慮すべき 各ワクチンの副反応	109
5. おわりに	111
<b>3. 感染拡大防止の対応</b>	113
A. 本人、家族の対応の仕方	佐藤 綾乃 113
B. 医療スタッフの対応の仕方	渡辺 明美 115
1. 在宅医療・介護の特徴	115
2. 在宅ケアと病院医療の違い	116
3. 接触感染予防策が必要な感染症	116
4. まとめ	117
<b>C. 死後ケアと感染予防対策</b>	渡邊 博文 118
1. 死後ケアを取り巻く現状	118
2. ご遺体を取り巻く現状	119
3. 早期死体現象	122
4. 晩期死体現象	123
5. EBM	124
<b>索引</b>	巻末